

入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）概要

1 設置目的

公共施設マネジメント事業計画が地域に与える影響や課題について地域住民の意見を聴取する。

2 委員構成

市から委嘱した16名。（委嘱期間は、令和元年8月5日(月)から令和3年3月31日(水)まで。）

3 活動期間

令和元年8月5日(月)から令和3年3月23日(火)までの期間に会議を6回開催した。

4 意見交換の概要

検討会議においては、「宮寺・二本木地区の地域性や今後の見通しなどを踏まえると、小学校の統合に向けた取り組みを進めていくことが求められる。」ということを委員の共通認識とした上で、事業計画が地域に及ぼす影響や課題について意見交換を行った。

(1) 通学に関することについて

学校の統合に向けては、児童の安全な登下校が一番の課題である。通学距離が長くなることや国道16号を渡ることについては、リスクを減らすために幅広い検討が必要である。また、交通事故防止と合わせ、防犯の視点も含めた幅広い安全対策が求められる。

〔課題〕

- ・ハード、ソフトの両面からの国道16号往来の安全対策
- ・地区内の危険箇所への対応
- ・スクールバスなども含めた通学手段の検討
- ・街灯の設置等の防犯対策

(2) 新しい学校の整備について

学校施設の整備については、ICTの活用など先進的な学習環境と合わせ、快適なトイレなど生活環境についても十分な配慮が必要である。

学校の運営については、宮寺小学校、狭山小学校の両校とも地域が学校と密接につながり子ども達を育てている。新しい学校においてもこうした活動を継続していきたい。また、保護者が学校行事に参加しやすくなることや、地域と学校の連携を行いやすくするため、新しい学校整備に向けて地域の声を聴く機会の設定を求めたい。

〔課題〕

- ・先進的かつ快適な環境整備の検討
- ・地域と連携した学校運営の検討
- ・施設整備に対する地域の声の反映

(3) 防災対策・地域や人へのケアについて

小学校は避難場所・避難所であるので、新しい学校は災害時の安全確保について十分な対策が求められる。また、学校の施設のことだけでなく、周辺の道路や跡地の活用について防災の観点も踏まえた検討が必要である。

〔課題〕

- ・自然災害への対応を十分に配慮した施設の整備
- ・防災対策を考慮した周辺環境の整備や跡地活用の検討

(4) その他

学校は地域の核であり、まちづくりの上で重要な施設である。学校の統合が将来に禍根を残すことのないよう進める必要がある。

〔課題〕

- ・地域の歴史的な背景も踏まえた合理的かつ丁寧な計画の推進

5 今後の進め方

(1) 学校統合地区検討会議の再開

新たな学校の整備場所が提示できる状況になった段階で検討会議を再開する予定。

- ・再開後は、通学の安全確保や学校の立地に起因する諸問題などを中心に、課題の整理や対応の方向性について意見交換を行うことを想定。

(2) (仮称) 学校統合委員会の設置

検討会議の成果を引き継ぎ、学校の統合に向けて具体的な内容を検討する(仮称)学校統合委員会を設置する予定。

- ・(仮称) 学校統合委員会は、統合後の新校の名称、学校の運営、学校の施設、通学に関すること、学校用品などの重要事項の検討及びとりまとめを行う予定。
- ・今回の検討会議を通して整理した課題などについては、この(仮称)学校統合委員会における検討事項として位置付け、実際の学校整備に向けて協議していく。